

# 公共事業のPDCAサイクル制度における 景観アドバイザー会議の進め方について (検討事項)

## 景観アドバイザー会議の進め方について(検討事項)

### ○ 会議実施の回数とタイミング

- ・1つの事業に対して、何回実施するか。
- ・基本計画、基本設計、実施設計等、どの段階で実施するか。

#### ■ モデル事業

⇒ 基本設計で2回、実施設計で1回の計3回を想定

### ○ 現地確認の必要性・頻度

- ・全ての案件で現地確認は必要か。
- ・写真や動画で代用することは可能か。その場合押さえるポイントは。

#### ■ モデル事業

⇒ 現地確認は第1回のみで、第2回以降は会議中心を想定

# 景観アドバイザー会議の進め方について(検討事項)

## ○ 会議資料

・会議実施にあたり必要な資料はどのようなものか。

### ■ モデル事業

⇒ 「景観形成の目標設定シート」、「配置図」、「平面図」、「立面図」、「主要断面図」、「周辺写真及び撮影位置図」、その他説明上、必要と思われる資料があれば提供

## ○ 会議の進め方

・会議の進め方はどのようにすればよいか。

### ■ モデル事業

⇒ (1回目現地有の場合) ①事業概要説明、②現地確認、③質疑応答を含む景観アドバイスの流れで進行

⇒ (2回目会議のみの場合) ①アドバイスへの対応案の説明、②再度の景観アドバイスのやりとり

## 景観アドバイザー会議の進め方について(検討事項)

### ○ 会議の所要時間

- ・会議の所要時間はどの程度か。
- ・1回のアドバイザー会議で、複数の案件を実施する場合、1件のアドバイスに対して最低必要となる時間はどの程度か。

#### ■ モデル事業

⇒ 現地確認を含め、全体で約90分を想定。

### ○ アドバイスへの対応報告

- ・アドバイスへの対応報告時期はどう定めるべきか。

#### ■ モデル事業（事務局案）

⇒ 第1回アドバイス会議の開催後2ヶ月程度間をあけて、第2回会議で報告することを想定